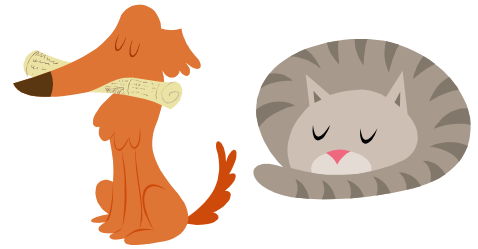


ちゃん



の去勢手術 ・ 避妊手術について説明をさせていただきます。

Q: 手術はいつすればいいの？

A: 犬、猫ともに生後6か月～12か月をお勧めしています。
女の子の場合、特に2回目の発情前の手術が乳腺腫瘍の予防に効果的であるためお勧めです。

Q: 手術はどんな手術なの？

A: 男の子は左右の精巣を摘出します(開放式)。
女の子は子宮と卵巣を両方とも摘出します(子宮卵巣摘出術)。

Q: 手術の流れは？

A: ご飯は前日の夜までOKです。
当日の午前中に絶食で来てください(少量のお水は大丈夫です)。
当日は緊急連絡先、絶食の有無を確認した後、お預かりさせていただきます。
可能な限り術前検査(血液検査、レントゲン:5千円程度)をお勧めします。

よくある手術後のトラブル

○ 服が脱げた！・絆創膏が外れた！
⇒傷口が汚れたりしなければ特に心配ありませんが、病院で着せ直してできます。

○ 下痢をした！吐いた！食欲がない！
⇒手術のストレス・抗生剤の副作用などが考えられます。一度お電話にてご相談ください。

その他、退院後激しく痛がったり出血がある場合、元気がない場合は一度ご相談ください。

手術

□ 恐れ入りますがお迎え時間の確認のため
_____ 時にお電話下さい。

□ お薬あり(抗生剤)
傷口の感染を防ぐためのお薬です。
ご飯に混ぜてあげてください。

□ 抜糸あり
通常、抜糸は10-14日後になります。
それまでは絆創膏・服を着て過ごします。

麻酔からの覚醒に問題がない場合、夕方から夜のお帰りとなります。
手術当日はお水のみで大丈夫です。翌朝からご飯をあげてください。

10-14日後

抜糸が終われば、治療は終了です。

参考:

- ・ 小動物の実践外科学 (枝村 一弥著 チクサン出版社)
- ・ Small Animal Surgery



ダイゴペットクリニック
愛知県豊田市上野町5-1-1
Tel:0565-88-1385
Fax:0565-88-1386